

## 『ガバナー補佐の発足と役割』

ロータリークラブのDLP(District Leadership Plan)とは、ロータリークラブの活動をより効果的に行うために、国際ロータリー(RI)が2002年に各地区に導入したリーダーシップ育成プログラムです。そのDLPは、1950年頃から存在していた公式ではなかった、分区代理に変えて、各地区に地区ガバナー補佐(DG:district governor アシスタント)を任命し、ガバナー補佐がガバナーの地区管理を公式に補佐することになりました。各クラブを公式訪問して指導を行うことで、クラブの活動を活性化し、結果的にロータリー財団への寄付が増えてくれることを目的としています。



また、DLPでは、ガバナー補佐が各クラブの活動状況を把握し、必要に応じてアドバイスやサポートを行うことを指示しています。また、ガバナー補佐は各クラブの代表者を集めて会議(アッセンブリー)を開催し、各ロータリークラブの健康度やその他の問題点をチェックします。

一方、CLP(Club Leadership Plan)は、2007年から導入されたロータリークラブのリーダーシップ育成プログラムです。甲子園ロータリークラブはCLPを導入しています。通常の委員長の役割をチームリーダーが行います。CLPでは、会員がロータリークラブの活動や役割を学び、リーダーシップスキルを磨くことができることを目的としています。CLPは、会員の成長を促進し、ロータリークラブの活動をより効果的に行うために重要なプログラムです。

### 【ガバナー補佐の資格】

7年以上ロータリーに在籍していること。

会長経験者であること

### 【ガバナー補佐の役割】

- ・ グループ内のクラブを年間4回以上訪問し、クラブの現状を把握し、改善すべき問題点があればガバナーと協議の上、助言、指導する。
- ・ クラブ会長エレクトが目標を設定してロータリークラブセントラルに入力し、その目標を達成できるように支援する。
- ・ 関係委員会と連携し、奉仕プロジェクト・補助金プロジェクトにクラブやグループが積極的に取り組むように、クラブに対する支援やクラブ間の調整にあたる。
- ・ 関係委員会と連携し、クラブから各種セミナーや地区大会に多数の会員が参加するように推進する。
- ・ 将来の地区リーダーを探し、その育成を援助する。
- ・ ガバナー補佐主導によるグループ内の親睦、学び、奉仕を積極的に推進する。
- ・ 「学びの場」としてのIMを開催する。
- ・ 各ロータリークラブでガバナー公式訪問の準備を行う。

等があります。本日のアッセンブリーは、このガバナー公式訪問の準備を行うにあたります。

谷口ガバナー補佐を当クラブの会員(仲間)という目ではなく、ガバナー補佐として接し質問には真摯にお答えして、当クラブの今年度の方針を見直しましょう。